

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	令和	年	月	日	決裁	令和	年	月	日
議長	副議長	局長	次長	係長	主査	担当							文書取扱主任		

第 3 回 総務文教常任委員会 会議録

開催年月日	令和元年7月19日(金曜日)	開会9時57分	閉会10時41分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	安樂、東元、堀、山口、渡邊、寄谷、佐々木、 本間、柴田、荒木、議長	事務局	竹谷事務局長
欠席委員			菊田次長
説明員	別紙のとおり		
議件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	○休憩中、7月1日付け人事異動に伴う職員紹介を行った。		
	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、全て報告済みとした。		
	(1) 公立高等学校配置計画(案)について		
	(2) 令和元年度一般会計補正予算について(滝川市民会館解体に伴う石綿含有物撤去)		
	(3) 令和元年度一般会計補正予算について(滝川市水害コミュニティ・タイムラインのリーダー育成事業)		
	(4) 水防災タイムライン・カンファレンス全国大会2019in北海道の開催について		
	(5) 滝川市災害対策本部図上訓練の実施について		
	2 その他について		
	安樂委員長から総務文教常任委員会の行政視察の内容について説明があり、委員から意見聴取を行い、説明のとおり実施することを確認した。		
	3 次回委員会の日程について		
	8月23日(金)10時00分から開催することに決定した。		
	上記記載のとおり相違ない。 総務文教常任委員長 安樂良幸 ㊦		

令和元年7月17日

滝川市議会議長 関 藤 龍 也 様

滝川市長
滝川市教育委員会教育長

前 田 康 吉
山 崎 猛

総務文教常任委員会への説明員の出席について

令和元年7月2日付け滝議第46号にて通知がありました第3回総務文教常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いいたします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いいたします。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部長	中 島 純 一
総務部次長	長 瀬 文 敬
総務部次長	柳 圭 史
総務部総務課防災危機対策室長	湯 浅 芳 和
総務部総務課防災危機対策室係長	千 葉 昭 一
総務部総務課防災危機対策室主任主事	倉 嶋 真 司
総務部財政課長	堀之内 孝 則
総務部財政課行財政改革推進室副主幹	倉 本 真 吾
総務部財政課行財政改革推進室係長	万 年 英 人
総務部財政課行財政改革推進室主任技師	東 真 美

滝川市教育委員会教育長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育部長	田 中 嘉 樹
教育部指導参事	廣 瀬 一 仁
教育部教育総務課長	寺 嶋 悟
教育部教育総務課長補佐	佐 藤 智 人
教育部教育総務課係長	後 呂 典 輝

(総務部総務課法制文書係)

第3回 総務文教常任委員会

日 時 令和元年7月19日（金）

午前10時00分～

場 所 第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

○ 休憩～7月1日付け人事異動に伴う職員紹介

1 所管からの報告事項について（◎は議案関連）

《教育部》

（1）公立高等学校配置計画（案）について

（資料）教育総務課

《総務部》

◎（2）令和元年度一般会計補正予算について

（資料）行財政改革推進室

（滝川市民会館解体に伴う石綿含有物撤去）

◎（3）令和元年度一般会計補正予算について

（資料）防災危機対策室

（滝川市水害コミュニティ・タイムラインのリーダー育成事業）

（4）水防災タイムライン・カンファレンス全国大会2019in北海道の開催
について

（資料）防災危機対策室

（5）滝川市災害対策本部図上訓練の実施について

（資料）防災危機対策室

2 その他について

3 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第3回 総務文教常任委員会

R1. 7. 19(金) 10:00～

第一委員会室

開 会 9:57

委員長 第3回総務文教常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員長 委員については、柴田委員から遅刻の申し出がありました。それ以外は全員出席です。議長に出席をいただいております。傍聴については、木下議員が出席です。

ここで7月1日付人事異動に伴う職員の紹介をしますので、暫時休憩をいたします。

休 憩 9:58

再 開 10:03

委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

1 所管からの報告事項について

委員長 1、所管からの報告事項について。(2)、(3)については議案関連でございますので、事前審査に当たらないようにご留意願います。

それでは、教育部、(1)、公立高等学校配置計画(案)について説明を求めます。

(1) 公立高等学校配置計画(案)について

寺嶋課長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

本 間

1枚目と3枚目にあるのですけれども、要するに芦別と砂川に関しての計画決定時に公表というのが9月に計画決定すると、その後に公表しますと。例えば令和元年から令和4年度までは間口減は確定しているとしたときに、砂川と芦別の学級減が確定するということになると、令和5年から6年まで2から3学級相当の調整が必要ということになると調整する必要が非常になくなってくる可能性があるということも言えるのかどうなのか。どういうふうに判断できるのかということについて教えていただきたいと思えます。

寺嶋課長

あくまでも道では、自然減で3学級から2学級になったという事実はあるのですけれども、それは計画決定時にならないと何学級になるかということはこの段階では公表できないということで言うておりますので、本間委員が言われたように調整する数に変化が起きるとことは考えられるとは思いますが。

田中部長

今課長から申し上げたとおりなのですけれども、これはちょっと推測になりますが、先ほど資料の3枚目の太枠で滝川においては三十数人減りますと、その上に北学区全体で、ちょっと数字は小さいのですけれども、83人減りますとあります。これは、令和5年から8年までという中で単純に八十数人というものを学級数に置きかえると2から3ということですので、それ以前の砂川、芦別、この自然減については、恐らく道教委の考えとしてはそれはそれ、これはこれという考えでないかなという推測はするところでございます。

本 間

まず、深川の減で深川西、34、令和元年欠員、深川東、83人欠員、令和2年度で深川東が1減になるので、それでもここでもう既に2間口減が確定するに近い数字になっているように見えるのですけれども、こういうことは公で深川が

いるところで発言するということにはなかなかなりにくいかもしれないので、ぜひこういうことは強く言ってほしいのと、自然減は関係ないという意味がわからないので、そこは自然減で自動的に募集に足りなくてなくなっていく間口については、それも入れて減らしてもらわないと、無理やりどんどん減らすという話もおかしい話なので、そういうことを申し上げていただきたい。どう思われますでしょうか。

田中部長

今の深川の件ですけれども、令和2年に深川東、これは学科が農業学科と商業学科ということで、恐らく学科転換をして1学科にするのだと思います。そして、1学級減と。ただ、この欠員を見ますと2学級減だろうと、もしくは2ないし3減だろうということは我々もそういう協議会の場ではなかなか言えないのですけれども、教育長と道教委に伺った際には、先にやるのはここでないのかと、要するに欠員のところは人気がないのだから、そういうところを優先して再編整備すべきだろうと。義務教育と違うところは、子供たちが選んで来るのだと、要するに滝川の学校に子供たちが選んで来るのだと。そういうところの間口削減する前に、要は欠員のところを先に整理すべきではないかというのはこれまでも申し上げておりますし、これからも要望してまいりたいと思います。

委員長

ほかに質疑ございますか。

佐々木

こういう協議会が行われる前に私たちには、情報というか、こういうのがありますよという、決定しましたの前に何か入ってこないものなのですか。

寺嶋課長

一応計画案が公表されたのは6月でして、それで今回7月に開かれた協議会というのはまさに意見を聞く場でありますので、皆さんから意見を聞きたいということでの周知の場がこちらになります。議員にということではないのですけれども、その前に周知をしてほしいということですね、わかりました。

委員長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

報告済みといたします。

それでは、ここで所管入れかえのため休憩いたします。

休 憩 10:14

再 開 10:16

委員長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、総務部、(2)、令和元年度一般会計補正予算について(滝川市民会館解体に伴う石綿含有物撤去)について説明を求めます。

(2) 令和元年度一般会計補正予算について(滝川市民会館解体に伴う石綿含有物撤去)

倉本副主幹

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

報告済みといたします。

次に(3)、令和元年度一般会計補正予算(滝川市水害コミュニティ・タイムラインのリーダー育成事業)について説明を求めます。

(3) 令和元年度一般会計補正予算について(滝川市水害コミュニティ・タイムラインのリーダー育成事業)

倉嶋主任主事

(別紙資料に基づき説明する。)

委員 長 説明が終わりました。
質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員 長 報告済みといたします。
次に(4)、水防災タイムライン・カンファレンス全国大会2019 in 北海道の開催について説明を求めます。
(4) 水防災タイムライン・カンファレンス全国大会2019 in 北海道の開催
(別紙資料に基づき説明する。)

千葉係長 説明が終わりました。
委員 長 質疑ございますか。

山 口 2点お願いします。このイベントの主催はどこなのですか。それと、必要経費の負担はどのようになっているのですか。

千葉係長 主催につきましては、水防災タイムライン・カンファレンス全国大会2019 in 北海道実行委員会が担ってございます。経費につきましては、協賛金をいただきまして、それを費用に充当しているところでございます。

山 口 協賛金というのは、民間からの協賛金ですか。

千葉係長 具体的には3団体でして、北海道河川財団、石狩川振興財団、環境防災総合政策研究機構、この3者になります。

委員 長 ほかに質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員 長 報告済みといたします。
(5)、滝川市災害対策本部図上訓練の実施について説明を求めます。
(5) 滝川市災害対策本部図上訓練の実施について
(別紙資料に基づき説明する。)

千葉係長 説明が終わりました。
委員 長 質疑ございますか。

本 間 まず一番最初の文章の中の避難勧告等の伝達、避難誘導、支援、避難所開設、運営、広報、マスコミ対応となっておりますが、一番下の太枠の中のレベル3を発令するまでの災害活動を実施する。もちろん追加の状況付与についても行うとなっておりますけれども、前提としてレベル3だと避難勧告等の伝達、避難誘導支援、避難所開設、これに至るものなのか伺います。

千葉係長 前段で書かれている訓練内容、重点的に行う中身についてなのですけれども、レベル3、避難準備、高齢者等避難開始に向けてそれを発令しますと、それに向けて避難勧告の伝達をどのようにすればいいだろうかですとか、避難所の開設をどこにすればいいだろうかとかいったその前段の各部の動き、これを検証するものでございます。

委員 長 ほかに質疑ございますか。

山 口 今の答弁なのですけれども、警戒レベル3で高齢者の避難を開始するのですよね。それは、前から言われているのは避難所も準備ができていて、全てそういうものが準備が整って発令するということになっているはずですよ。今の答弁だとちょっとずれていないですか。

千葉係長 申しわけございませんでした。前回説明したとおり、この避難準備、高齢者等避難開始を警戒レベル3として発令するときには全ての準備が整っているという状況でございまして、その整えるまでの訓練を今回行うといったものでござ

- います。
- 委員 長 ほかには質疑ございませんか。よく理解するまで確認したほうが良いと思います。
- 本 間 避難勧告等の伝達、避難誘導、支援、避難所開設はいいのですけれども、運営、そうなってくると、警戒レベル4なのではないのですか。本当は警戒レベル4までの図上訓練をやるということなのではないのかなと思うのですが、違うのですか。
- 湯浅室長 今のご質疑でありますけれども、今回の図上訓練におきましては警戒レベル3については避難準備、高齢者等避難開始、警戒レベル4になりますと避難勧告ということになりますので、今回は警戒レベル3の避難準備、高齢者等避難開始の発令ということで、先ほどご指摘がありました避難所の開設等の準備が終わっているということが前提でございます。実際の災害の場合はです。今回は図上訓練という形でございまして、記載にもございますけれども、それに至るまでの災害対応の計画を作成するというのを各部、各班で行ったというようなイメージになります。実際にその場所に行って何かをするわけではないのですけれども、その計画までを立てて、その計画の内容が実際の災害対応によいかどうかを災害対策本部で判断するというところまでを実施するという形を考えてございます。
- 本 間 避難勧告等の伝達、避難誘導、支援、避難所開設、運営となっておりますよね。避難準備、高齢者等避難開始というところで終わらせようとするにこだわる意味があるのかと思う。要するに本当に安全に避難所を開設して、準備ができて、高齢者だけではなくてもそこに入ってもらえるまでを行いたいということだとしか思えないが、せっかく図上訓練をやるのだから、それを警戒レベル3でとめるということについてこうやってわざわざ書くというのがちょっと理解できない。
- 湯浅室長 警戒レベル3、避難準備、高齢者等避難開始、今回の図上訓練についてはそこまでということで考えておりますけれども、今ご指摘のとおり、それ以降の災害対応についても行う必要は当然あると考えてございます。ただ、レベル3、レベル4、またレベル5、それぞれの訓練を実施することは望ましいのですけれども、まずはレベル3の対応というところを今回の図上訓練は初めての付与ということもございまして進めたい。なぜそこに着眼点を置いたか申し上げますと、やはり避難に時間のかかる方の避難というのが非常に重要だと考えてございますので、こちらを今回は重点的に取り組みたいという考え方で進めさせていたきたいと考えております。
- 委員 長 ほかには質疑ございますか。
- (なしの声あり)
- 委員 長 報告済みといたします。
- 2 その他について**
- 委員 長 それでは、2、その他について、委員のほうから何かございますか。
- (なしの声あり)
- 委員 長 それでは、私から令和元年度の総務文教常任委員会の行政視察ということで配付しておりますが、これについて若干説明をいたします。
- 視察内容及び日程については、10月22日火曜日から10月24日木曜日まで。中身を見てもらえればわかるのですが、1日目については移動で考えています。2日目、午前中、東京学芸大附属世田谷小学校、ここで調査視察ということで考

えております。昼食を挟んで、大田区の防災危機管理課で大田区の防災について調査視察を予定をしています。特にこの中で今調整しているのは、小学校等の避難とか学童の避難をどのようにやるのかとか、全体的に説明をお願いしています。3日目については移動です。

何か質問ございますか。

山 口
委 員 長

22日は天皇即位式の日ですけれども、影響はないのですか。
特に影響はないと考えております。ほかに質問ございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

それでは、視察については以上です。近くなりましていろいろなことが詰まってきたら、また委員会のほうで報告したいと思います。

3 次回委員会の日程について

委 員 長

それでは、3、次回委員会の日程ですが、8月23日金曜日10時から、これは3定前の委員会ということになりますので、よろしくお願いたします。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

以上をもちまして第3回総務文教常任委員会を閉会いたします。

閉 会 10:41